

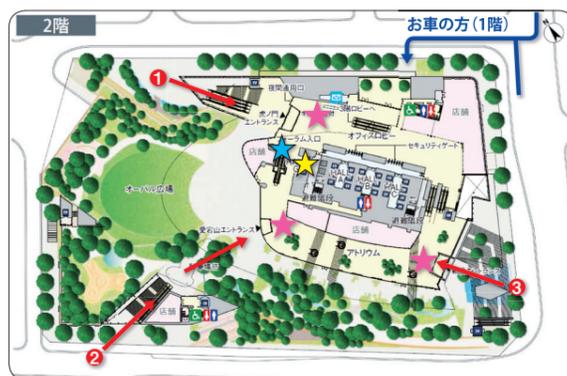
地方議会活性化 シンポジウム2016

18歳選挙権を契機に、地方議会はいかに変わるか

会場への交通アクセス



- 
○東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」 ▶ 1番出口より徒歩約5分
- 東京メトロ日比谷線「神谷町駅」** ▶ 3番出口より徒歩約6分
- 都営地下鉄三田線「内幸町駅」** ▶ A3番出口より徒歩約8分
- 東京メトロ銀座線・都営地下鉄浅草線・ゆりかもめ
JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線**
 ▶ 「新橋駅」 徒歩約11分



- ① 虎ノ門エントランス
- ② 愛宕山エントランス
- ③ 新橋エントランス
- ★ 5F行きエレベーター
- ★ 5F行きエスカレーター
- ★ 誘導員立ち位置

シンポジウムのお問い合わせ先

総務省自治行政局行政課
〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2
TEL : 03-5253-5510 FAX:03-5253-5511

会場のお問い合わせ先

虎ノ門ヒルズフォーラム
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目23-3
TEL : 03-6406-6226 FAX:03-3593-4041
<http://forum.academyhills.com/toranomon/index.html>



開催日 **平成28年11月7日(月)**
14:30~17:30

会場 **虎ノ門ヒルズフォーラム(5階)**
メインホール(シンポジウム会場)、ホールA(交流会会場)

主催 総務省 共催 全国都道府県議会議長会 全国市議会議長会 全国町村議会議長会

地方議会活性化シンポジウム 2016のご案内

開催趣旨

我が国では、人口減少社会を迎え、合意形成が困難な課題が増大する中、地方議会が担う役割の重要性は高まっているにも関わらず、投票率の低下や無投票当選の割合の増加に見られるように、地方議会に対する関心の低下や議員のなり手不足が深刻化している。

一方、今夏の参議院議員選挙をはじめとして、18歳選挙権が実現し、各地域では模擬選挙や主権者教育が実施されるなど、若者の政治参加への機運が高まってきている。

こうした状況の中で、地方議会として、このような機運の高まりをどのように評価し、また、この機会をいかに活用して、地方議会を巡る課題の解決につなげることができるか、を考える機会として本シンポジウムを開催する。

テーマ

「18歳選挙権を契機に、地方議会はいかに変わるか」

～より幅広い住民層からの関心、そして新たな参画者を得るために～

プログラム

シンポジウム (会場/虎ノ門ヒルズフォーラム 5階 メインホール)

14:00 受付開始

14:30 開 会 総務省挨拶

14:40 基調講演 講演者:小玉 重夫 氏 東京大学大学院教育学研究科 教授

15:25 休 憩

15:40 パネルディスカッション **テーマ「18歳選挙権を契機に、地方議会はいかに変わるか」**

- | | |
|----------|-----------------------------|
| コーディネーター | 廣瀬 克哉 氏 法政大学法学部 教授 |
| パネリスト | 上神 貴佳 氏 岡山大学法学部 教授 |
| | 川上 文浩 氏 可児市議会議員 |
| | 野川 政文 氏 山形県議会議員 |
| | 原田 謙介 氏 NPO法人YouthCreate 代表 |
| | 広瀬 重雄 氏 芽室町議会議員 |

※五十音順

事例発表

可児市議会・元岐阜県立可児高校生徒
ポリレンジャー～若者の手で政治をよくし隊!～(島根大学学生)

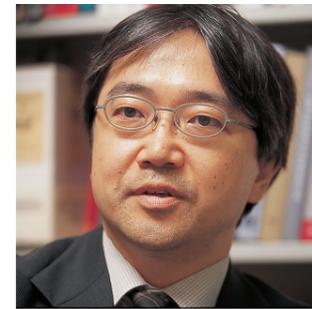
17:30 閉 会

交流会 (会場/虎ノ門ヒルズフォーラム 5階 ホールA)

18:00～19:00 交流会 情報交換の場です。皆さんぜひご参加ください。

基調講演

「18歳選挙権を契機に、地方議会はいかに変わるか」



小玉 重夫 (東京大学大学院教育学研究科 教授)

1960年生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。慶應義塾大学教職課程センター助教授、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授などを経て、2009年から現職。専門は、教育哲学、アメリカ教育思想、戦後日本の教育思想史。著書に『教育政治学を拓く: 18歳選挙権の時代を見すえて』、『難民と市民の間—ハンナ・アレント「人間の条件」を読み直す』ほか。

パネルディスカッション



コーディネーター
廣瀬 克哉 法政大学法学部 教授

1958年奈良県生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。法学博士。法政大学法学部助教授を経て1995年より現職。専門は行政学、地方自治。自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表。議会改革の動向を定点調査し「議会改革白書」(編著)を毎年刊行。所沢市議会などで専門的知見を活用した調査・報告を行い、また、参考人、審議会委員なども務める。



パネリスト
上神 貴佳 岡山大学法学部 教授

1973年東京都生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程満期退学、博士(法学)。東京大学社会科学研究所助手、高知大学人文学部准教授等を経て、2015年から現職。人事院試験専門委員(国家公務員採用I種試験)、日本比較政治学会理事等を務める。著書に『政党政治と不均一な選挙制度』、『ローカルからの再出発』(共著)ほか。



パネリスト
川上 文浩 可児市議会議員

1960年岐阜県生まれ。国際医学総合技術学院卒業。元青年会議所理事長。2007年に可児市議会議員に初当選。その後、副議長、各常任委員会委員長を歴任し、2013年8月から2015年8月まで議長。現在は、議会運営委員会委員長と議会改革特別委員会委員長を務め、議会改革の中心的役割を担っている。



パネリスト
野川 政文 山形県議会議員

1954年北海道生まれ。明治大学法学部卒業後、衆議院議員事務所秘書を務める。1995年山形県議会議員に初当選後、6期連続当選し、現職。2015年第31代山形県議会議員に就任し、2016年から全国都道府県議会議員会会長も務める。「人生これすべて邂逅である」を座右の銘とし、日々出会いを大事にしている。



パネリスト
原田 謙介 NPO法人 YouthCreate 代表

1986年岡山県生まれ。東京大学法学部卒。2012年YouthCreateを設立し、「若者と政治をつなぐ」をコンセプトに、地方議員と若者の交流会「Voters Bar」や中高での出前授業等の活動を行う。2015年参議院にて参考人として、「選挙権年齢引き下げ」に関して意見陳述。総務省・文科省作成「政治や選挙等に関する高校生向け教材」の執筆に携わる。2016年岡山大学講師。



パネリスト
広瀬 重雄 芽室町議会議員

1957年北海道芽室町生まれ。北海道拓殖短期大学卒業。元JA芽室青年部部長。元青年会議所理事長。1999年芽室町議会議員に初当選後、5期連続当選。2011年に議長に就任し、現在2期目。2013年制定の議会基本条例や通年議会の導入に尽力し、「情報公開」と「住民参加」をキーワードに芽室町議会の議会改革をけん引している。

事例発表

「高校生議会や模擬選挙等の取組を通じて」

可児市議会・元岐阜県立可児高校生徒

議会として、高校生のキャリア教育支援や模擬選挙等に取り組んでおり、議会がコーディネートして高校生と医師会や商工会議所等の各種団体が連携した地域課題懇談会(高校生議会)を実施。高校生当時から、キャリア教育の取組に興味を抱き、現在もNPOの一員として活動する角野仁美さん(新潟大学学生・元岐阜県立可児高校生徒)を交え、事例発表を行う。

「ポリレンジャーが行う若者の政治参加を促す取組」

ポリレンジャー～若者の手で政治をよくし隊!～(島根大学学生)

2009年衆議院議員選挙後、若者の投票率の低下に危機感を抱いた島根大学学生により結成。飲み会を通じて地方議員と大学生をつなげる「ポリコン」や、地方議員が中学生の疑問に答える「議員知恵袋」など、若者の政治参加を促す活動を行う。2013年、松江市長のマニフェストを評価する「松江市政の通信簿」が「マニフェスト大賞」最優秀賞を受賞。現在14名で活動中。